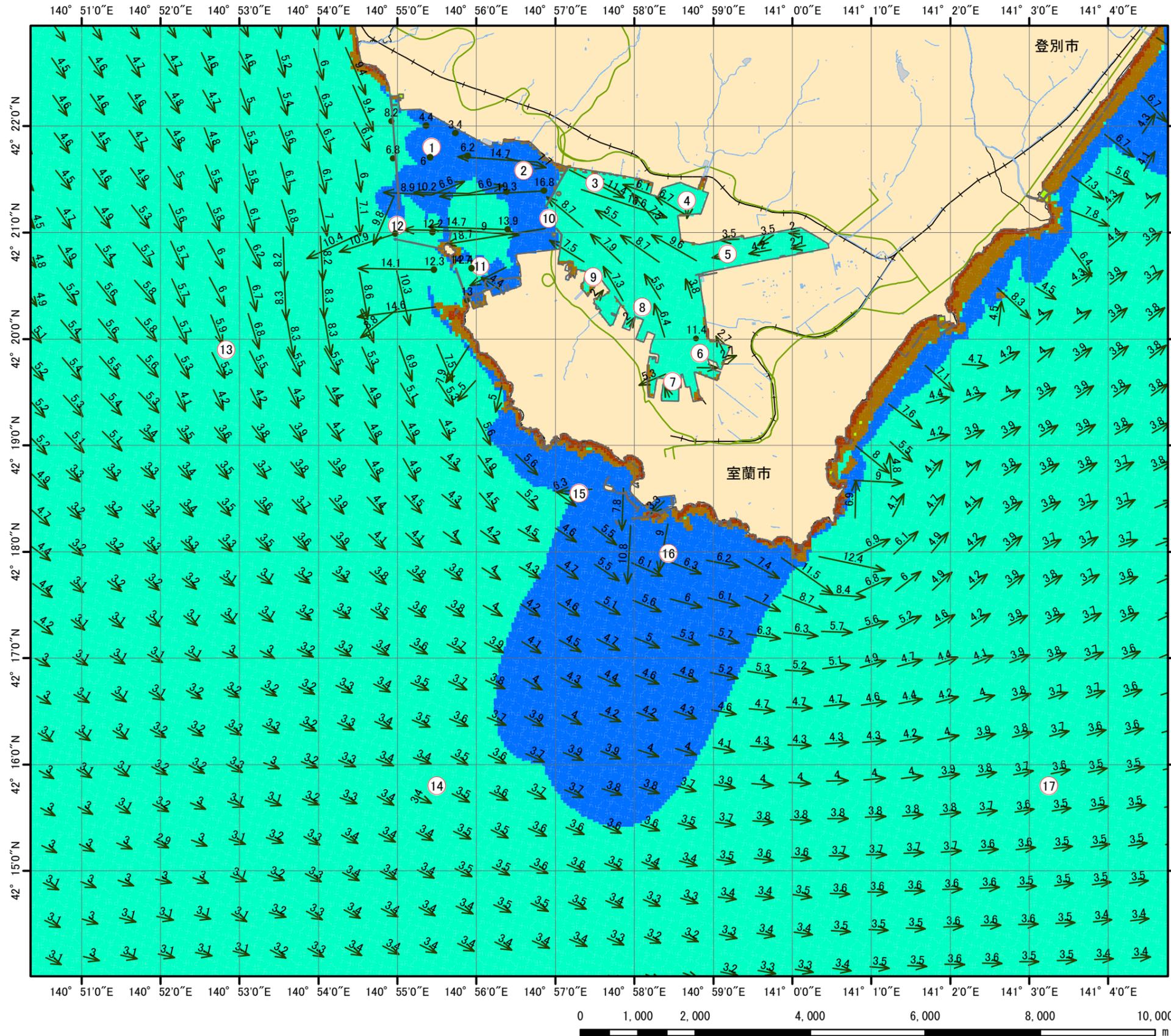


室蘭港津波防災情報図 (引潮図)

(日本海溝(三陸・日高沖)地震)

計算条件：最低水面(零位)
 隆起量：平均 -0.55m (-0.73~ -0.42m)
 Zo：0.95m
 備考：本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。

座標系：メルカトル図法
 測地系：世界測地系 (WGS84)



凡例

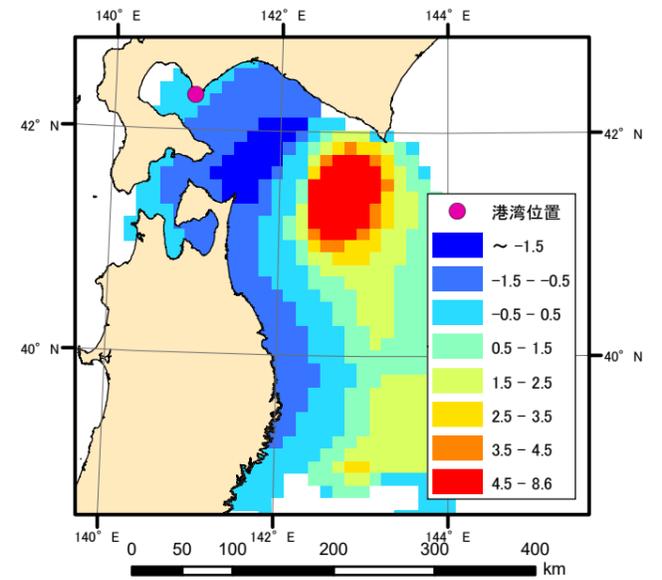
- 最大水位低下
- 5m以上
 - 3~5m
 - 2~3m
 - 0.5~2m
 - 0.5未満
 - 干出域
 - 露出域
 - No. 経時変化図出力点
(図上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で示す。)

引潮時最大流 [knot]

- 12 knot
- 8 knot
- 4 knot

- 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。
- 流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な海域では、流速のみを表示した。

断層モデル



日本海溝(三陸・日高沖)モデル

モーメントマグニチュードMw 9.1

本断層モデルは、内閣府の「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデル検討会」で公表されたモデルである。

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
 ・海上保安庁が保有する水深データ
 ・国土交通省国土数値情報 (ダウンロードサイト <https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/index.html> (2022年8月23日取得))

作成機関：海上保安庁
 防災情報図作成年月：令和5年4月(初版)
 地形データ作成年月：令和4年3月(初版)